

目標達成計画

作成日: 令和 8年 3月 24日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】

優先 順位	項目 番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に 要する期間
1		利用者の重度化対策が増えれば増える程、人手が不足してしまうのが現状。スタッフ側の疲労蓄積や精神面が回復できる環境作りは管理者の責務である。	グループホームは認知症ケアに特化すべきで、現在、在宅が困難な人から看取りが必要な人までのケアが求められている。要介護3以上の方は特養等に移って頂き、要介護2以下の人を受け入れるように変えていく。	連携の在り方、食事、排泄、入浴全てにおいてスタッフが平均的な知識・技術を持つこと、業務の効率化。(今までのやり方に囚われない発想の転換を気にせず発信する。)	12ヶ月
2		中庭が有効活用されていない。	利用者と共に花や野菜を植え、より多くの野菜を収穫し日々の生活を楽しむ。	土も肥料も現況に考慮する。車椅子でも出やすく通れるようにスロープを設置、片付けを施し、憩いの場所となるように綺麗にする。	2ヶ月
3		個別的な対応、レクが出来ていない。	個別的な対応を考えそれぞれに合わせたレク等を行い、生きがいや楽しみを見つけてもらう。	利用者1人ひとりの生活歴や好きな事を理解する事でレクや外出、買い物により充実させた環境を提供する。	3ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNoを記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。